

品質に厳しいこだわりを持つフランス。 日本の品質基準は、それに応えられるだろうか。

「当社の“輸送品質に対する思い”が、荷主様の製品に対する思いと重なったとき、Win-Winの関係を結ぶことができました。」

株式会社近鉄エクスプレス 執行役員 世界本部 副本部長 田原 清彦



1948年創業。国際航空貨物混載事業分野では国内第2位のシェアを誇る。1969年の海外進出開始以来、海外ネットワークの充実を図っている。「世界五極経営体制」により各地域を全世界共通の情報システムで結び、グローバル・ロジスティクス・パートナーの地位を確保すべく、グローバル化を一層強力に進めている。フランスでは、1990年にKINTETSU WORLD EXPRESS (FRANCE) S.A.S.を設立。リヨンなど4拠点をもち、フランス国内のみならず欧州・アフリカ圏の中心的役割を担っている。

フランス進出の経緯を教えてください。

欧州での拠点拡充策のひとつとして、1990年にフランス系企業との合弁会社としてパリに設立したKINTETSU WORLD EXPRESS (FRANCE) S.A.S.は、当初は日本からフランスへの輸入航空貨物の取り扱いが主たる事業でした。1994年に当社の100%出資会社となり、フランス国内での拠点展開を進めました。リヨン、ミュールーズ、トゥールーズでは、各地方自治体から雇用や事務所開設のための助言が得られ、極めて短期間に拠点拡充ができたのはそうした関係機関からの助言の賜物と、大変感謝しています。

フランスならではのエピソードはありますか？

フランスの代表的な輸出品である高級ワイン、シャンパン、ボジョレーヌーボー、レース製品、服飾品、チーズなどは特に厳し

い輸送品質が求められます。このため、工場出荷時のパレット積みつけや、搭載トラックの事前手配、転送地点での監視など、当社のノウハウを活用し、荷主様がご自身の製品に抱く品質保持への飽くなき思いの一つひとつに対応していきました。大変厳しい作業でしたが、当社の“輸送品質に対する思い”が国際輸送の大きな実績に繋がり、荷主様とWin-Winの関係を結べたことがとても嬉しく忘れられない思い出です。

フランスに対する期待を教えてください。

2003年からフランス人を現地法人の社長に登用しています。これにより雇用者と労働者の関係でより一層、一体感が醸成され、フランス系企業との取引も増加してきました。フランス人スタッフは経営陣、雇用者側、ともに仕事に対して強い愛着を持つ社員が多いと感じます。

また、生活と仕事のバランスをとることが大変上手なスタッフが多いのも、フランスの特徴だと思います。

強調に推移するフランス経済においては、日本、中国を含むアジア圏との国際物流は大変重要であり、国際航空貨物、国際海上貨物輸送はもちろんのこと、中東欧、ロシアなどの欧州圏内の域内物流も視野に入れながら陸上輸送にも一層力を入れていく所存です。

株式会社近鉄エクスプレスのフランスにおける実績

- 社名：KINTETSU WORLD EXPRESS (FRANCE) S.A.S.
- 設立：1990年8月
- 資本金：122万ユーロ
- 売上高：20百万ユーロ（2007年）
- 従業員：44名
- 所在地：4拠点（パリ、リヨン、ミュールーズ、トゥールーズ）
- 事業内容：航空、海運、陸運のフォワーディング事業及び国際輸送を含む総合物流事業
- 総倉庫面積：自社所有 600m²、外部委託倉庫 6,000m²
- 航空貨物輸出入年間取扱重量（2007年）：輸出 4,600トン、輸入 3,900トン

フランスへのビジネス投資は、いま絶好のタイミングです。
お役に立つ最新情報をホームページで発見してください。

www.investinfrance.org/Japan/

在日フランス大使館 対仏投資庁 日本事務所
〒106-0041 東京都港区麻布台2-4-5 メソニック39 MTビル 12F
Tel: 03-5733-8200 Fax: 03-5733-8201